

見ラ葉不ヲ多フルカ如クニテ四東ノ物貨販賣購取ヲ便スルニ
振ノ利ヲ無クシテ用クハ身伴ノ運動ヲ勉メ欲令長ク茂クテ
常々氣血ヲ暢ク通スルカ如ク若シ支シ氣血暢ク通スルニ
常石モ元其四ヲ奏セザレバ是故ニ四産ノ借需ヲ修ムルハ新産ノ
真氣ヲ強クシテ欠クカラザルニ要旨トシテ再考スルハ四産
善品ノ中ニ孰チ最良ノ如キハ其長産モ莫大ニテ芥一ノ長産ニ
比シテ昔時葉不政ノ時ハ各藩其力ニ憑リテ置振賣買ノ便法ヲ修
指其利交ヲ多クシテ力如キモ維新ノ後ハ未久適宜ノ施設ナキニ
テラス直後貢租令細改正セラレヨリ毎歲徵租ノ期ニ臨シテ殊ニ價位ノ
昂揚ヲ望ミ招リ細民ノ甚憊便ニ困ルルニテラス其此漲者ノ長存ヲ
況スルニ競賣トモ其ニキハ販賣ノ約ヲ為シテ法外ニ甚便ノ貴キ
賜セハ幸也又之ヲ他ノ賣卸スルノ契アリテ以テ確實ノ經濟ヲ
ルル高價ハ甚憊廉價トモ極之ヲ買アリテ難クシテ民間ノ

不便ニ至テ凝滞スル積トシテ之ト望ムルトナリ此契實者ヲ
救正スルニ及向波ノ政洲各國ニ行ハレ債庫方法ヲ新約折衷各
府縣下恰好ノ地ヲ推定シテ官庫ヲ設テ貸金口創設スル事ヲ
以テ任意ニ賣買借貸ノ契ヲ得ルニ候折付金存貯スル事又同令
官庫ノ形ヲ以テ方法ニ施設難ク仕事ヨリ以テ新舊各派力ハ以テ葉不
經濟ノ修ムル先許トシテ各々以テ時ハ各官庫助ニ適宜ノ地ヲ以テ貸
金ヲ運送シ以テ農商ノ利便ニ借中後葉不依リ別件貸金規
則付書ヲ副以テ修身預候也

年月日

各銀行連署

貸金規則

第一條

貸金者ハ若高ノ望ニ應テ其所持ル米穀ヲ貯リ之ヲ貸保
シテ後受テ收ルモノナリ

第二條

米穀ヲ貸金者ニ預ケテ貯ル者ハ其米ノ鉛柄及シ儀數石數
等ヲ記シテ書面ヲ以テ貸金者申出ハシ貸金者抽ハ其申出
後テ積入ルキ程指ルモノ

第三條

貸金者以テ米穀ハ少クモ口ノ高格儀以上名ニ且數人多人
ニテ貸金者指シテ時ハ申出ノ後以テ之ヲ引受テ新ノ物ニ之ヲ
換ルモノ

第四條

貸金者ヲ承継セシ米穀ヲ元法ニ片ハ貸金者ニ付シテ返シテ
為シテ(掛金)其石数ヲ定ム可シ而シテ其外也及元法ノ
費用ハ貸金主ノ負担スルコト

第五條

貸金者ノ時間ハ一月以上六月以下ノ限リ以テ主ノ望ニ任可シ故ニ由期
至リテ未シ願フ儘ヲ望ム者ハ再ヒ其積入タル米穀ノ外也コト為シ且ツ
欲リ券ヲ書留テ交付スルコト

但書然ルル米性ノ否惡ヨリテ再外也コト為サスレテ願儘キヲ承
継シ又ハ之ヲ割ルルコトアルヘシ

第六條

貸金者ハ元法ノ貸金者トシテ定ム刻令ニ任シ米穀元法ノ時之ヲ更
ルルヘシモ此等其米穀元法出シノ時ヨリ米定限ヨリ早キ決ハ十六日
以上ハ未シ三月以上六月ノ刻令ヲ以テ承継スルル米性ノ否惡ヨリテ

却ルル若シ又約米定限ヲ取ルルハ(酒古)月ノ定限ハ七例ニ非ス(同刻令)
コトヲ承継セシ米穀ヲ元法トシ

第七條

升也コトヲ為シ米穀ニ付モ出テ元法出シノ時ノ欠減ハ(貸金)
掛金於テ其責ニ任セザル可シ

第八條

貸金者申天災地変火難等其拒拒スヘカラザル事トスル者有テノ換
傷ハ貸金者於テ其責ニ任セザルヘシモ金掛ノ元法元法ヨリシテ
其米穀ノ外也コトアルコトハ之レテ換券スヘシ

第九條

貸金者ハ元法ノ米穀ニ對シニ換券ノ形ヲ券ヲ作り之ヲ欲ク主ニ交付
スヘシ

第十條

右ノ紙リ券ハ二ラ賣買用紙リ証書ト唱ヘ一ラ換者用紙リ
証書ト唱ヘ或枚ヲ聯係シテ紙々ニ後ト並クヘシ

第十三條

右二種ノ紙リ券ハ三六紙々主ノ位不姓名紙書及本紙ノ換
石紙係數等ヲ同一ノ條裁テ詳記スヘシ

第十四條

右二種ノ紙リ券ハ紙々主ノ位要紙一併ニ他ニ換書シ又六分刻
シテ之ヲ換書スルヲ得ヘシ且紙リ券ハ不換書ニ於テ之ニ表書
セシ上六甲ヨリ乙乙ヨリ兩ト紙紙換書スルヲ得ヘシ

第十五條

賣買用紙リ証書ハ其未換ヲ賣買用紙リ換者用紙リ
証書ハ換書ニ使用スルモノナリ故ニ其紙書ノ表書ハ二種トモ其
主書ニ証書ノ効ヲ有スヘシ

第十六條

二種ノ紙リ券ハ(一併又六分刻)表書シテ他ニ換書スルハ必ス其後ノ先ノ位
所此名及事由(換書ノ事由)年月日ヲ自記シテ且之ニ個不スヘシ

第十七條

賣買用紙リ証書ト換者用紙リ証書トヲ保者スルモノハ(換書ノ事由)
何時ニテモ貸金掛ニ換リテ其未ラ換ルヲ得ヘシ尤モ換書ハ其後ノ
ヨリテ之ニ必要ナレバ貸金掛ニ於テ之ヲ換書スヘシ

第十八條

二種ノ紙リ券方ヲ不換スルモノ(換書ノ事由)單ニ其未換ヲ他ニ換書
氏ハ賣買用紙証書ニ其事由ヲ記入シ換者用紙リ証書ヲ副ヘテ
保セテ之ヲ賣主ヘ交付スヘシ若シ又之ヲ換書セシト換書ハ換者用紙
証書ニ其換書ノ額利是割合返紙額其他ノ事由ヲ詳記シテ
之ヲ分別シテ換書ニ交付シ賣買用紙リ証書表書ニ付換書

令額其外ヲ記入シテ子件ハ抄シ在ルヘシ

第百十七條

米穀ノ借付ハ其米穀ヲ他借者ニシテ其分別シタル賣買
用納り証書ヲ以テ其米穀ヲ賣買スルハ不持人ノ任事タルヘシ
トモ買主ハ其既借者トシテ借用セシ令額ノ元利ハ米穀ヲ以テ
返償スヘキモノナルニ付且シク之ヲ見移リテ其賣買ノ代價ヲ決算スヘシ
但一旦買死リタル人及之ヲ他賣買スルモ買主ハ本條ノ執事ヲ行
得シテ其代價ヲ決算スヘシ

第百十八條

第一分別シタル賣買用納り証書ノミニ其米ヲ買取ル者ノ代價ヲ
付拂ヒシ借者アリタルヲ了知セザル証書面ノ米穀賣取方
申出ル借者用納り証書ヲ以テ其米穀賣取方ニ非シハ貸金掛ハ其米穀
源ヤ六且其苦情ハ承テ可シ

第百十九條

貸金掛ヨリ返附スル借者用納り証書ハ其米ヲ借者トシテ金融ヲ
為スルノ債主ニ對シテ其米穀ノ返償ヲ証スルモノナシハ若し買主
際今其米ノ不持人債主ニ對シテ借用金返附ノ期限ヲ忘リ債主
ヨリ其米ノ賣却ヲ望ム片ハ証書表面ノ約定ニ從テ之ヲ承償シ其
賣買買主モ(松葉又ハ)取扱フヘシ

第百二十條

故ニ借者用納り証書ニ表書セシモノヲ借者自取リ貸金ヲ為シタル
債主ハ其証書面ノ米穀銘柄係數石數不持人姓名住所(借主ノ
姓名住所若シテ)貸附金額返附期限等ヲ詳記シ貸附ヲ為シ且日ヨリ二日間
内(借主ノ姓名住所)郵便又ハ直報ニテ貸金掛ニ通知シ返令返附時モ同シキ事
ヲ被知スヘシ

第百二十一條

東京

第一國立銀行

惣務用紙の証書ヲ檢査トシテ以テ令ロ爲シ各人ハ其ノ旨依リ証書ヲ以テ
他ノ借金ハ檢査ニ供スルヲ得ニ其精實ニ先債主ヨリ本條ノ例ニ依
貸金掛ノ報知スヘシ

第二十二條

主貸実用紙の証書ノミニテ其本數ヲ実得セシモノ現未ク取ルテ下
取セシ片若シ檢査用紙の証書ノ不齊主ヲ知ラザルハ之ヲ知ルモ借金
返納ノ期限未達ニテ債主ヘ之ヲ返納スルノ協定ヲ遂テ得ザル時ニ於テハ
其借入タニ元金及ビ証書表裏ニ記載スル約束ニ依リテ期限迄ノ利息
トシテ九折ヘ貸金掛ヘ完納スルハ其本數ヲ受ルルルハ勝手タニヘシ

第二十三條

第一二條ノ紙の券ヲ紛失セシ者ハ其紙の券ニ記載スル要件ヲ詳記
シテ且紛失シタル紙ノ種類及ビ貸金掛ノ出ツヘシ貸金掛ハ其馬ノ
表紛失ノ旨ヲ紙ノ紙ノ且其紛失ノ紙ヲ紛失紙ヲ以テ廣告スルハ之

以上ノ確實ナル証人ヲ立テシメテ代り券ヲ作りテ其者ニ交付スヘシ
但紛失紙ノ廣告料ハ紛失セシ者ヨリ之ヲ納ム可シ

第二十四條

此規則他改正増補ヲ要スルコトハ貸金掛ノ紙ヲ以テ之ヲ加添スヘシ
尤モ之ヲ加添セシ片ハ違テ其紙ヲ廣告スヘシ而シテ其加添セシ紙目ニ係
ルノ紙扱ハ紙目従前ノ約束ニ依テ措置ス可シ

東京

第一國六銀行